

議会だより

令和4年

第67号

4月8日発行



春の彩り

穏やかな日差しを浴びて、春の花々が鮮やかに色づき始めた。
3月下旬、伊唐大橋公園では、平年より少し早めに満開を迎えたソメイヨシノが彩りを見せた。

Contents

- 骨格予算 議会と町で異なる認識 ②～③
- 町政を問う（一般質問） ④～⑧
- 特別委員会委員長報告 ⑨
- 委員会の審査報告 ⑩～⑪
- 議会のうごき ⑫

3月の一般質問は…

「SDGsの取組み」当面の施策は（上筋 睦雄）

地域交通の改編は（兒玉 誠）

10時と15時にチャイム放送を（竹山 司郎）

ごみ焼却処理施設完成後の運営と課題は（浦 弘成）

骨格予算……。議会と町で異なる認識

令和4年第1回長島町議会定例会が、3月2日から14日まで13日間の日程で開かれた。

4月に町長選挙を控え「骨格予算」となった令和4年度一般会計予算は、人件費や扶助費などの義務的経費のほか、工事の平準化などを理由にした継続事業に係る経費などを盛り込み総額96億2325万5千円（前年度比1億5928万9千円、1.6%減）となった。

令和3年度一般会計補正予算は、各事業の実績見込みなどによる補正で、3億5683万6千円を追加し、総額120億1570万5千円となった。

このほか、12の特別会計と水道事業会計（公営企業）に係る予算や条例改正など合わせて35件の議案を審議、協議した結果、原案のとおり可決した。

可決された議案は、日本マングリンセンターと長島町総合交流ターミナル施設の指定管理者の指定や、旧消防格納庫を処分する町有財産の無償譲渡など。

最終日の14日には追加議案が提出され、任期満了に伴う農業委員の選任について同意した。

同意された農業委員は、立野望、児玉任光、栢元真二、宮路勝博、坂口るみ、川添英一、飯田満穂、池元勇吉、山口新一、町田英史、脇田恵子、下塩見浩、崎野豊文、飯尾輝伸、久保賢一の15名。（敬称略。）

定例会で可決した議案や主な予算は次のとおり。

編成方針を問う

これまで、当初予算の審議は議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会を設置して審議を行ってきたが、令和4年度は骨格予算であることから、2つの常任委員会で審議した。（審議の詳細は10〜11ページ）

提出された骨格予算の捉え方に議会と町との間で認識が異なった。

会期2日目の総括質疑や8日の委員会では、予算編成や方針について問い直す場面が見られた。「住民生活に密接した予算」であるかを確認しながら審議し、最終日、それぞれの議員が表決した。

定例会で決まったこと

指定管理者に山上農園

「日本マングリンセンター」および「長島町総合交流ターミナル施設」（ともに鷹巣）の効果的かつ効率的な管理運営を図ることを目的に、指定管理者に山上農園を指定した。

指定管理期間は、両施設ともに令和4年4月1日から令和9年3月31日まで。

旧格納庫を個人へ譲渡

山門野分団田尻班が使用していた格納庫（鉄骨造り、平屋建て、約58㎡）の有効な利活用を目的とした無償譲渡申請があったため、個人に譲渡する。

消防団員の処遇を改善

国において、消防団員の確保に向け処遇改善を図るため「報酬等の基準」が策定されたことに伴い、団員が災害や訓練などの職務に従事する場合の出動報酬額などについて条例の一部を改正。

訓練、警戒活動に係る出動報酬は1回当たり4700円（4時間未満）。4時間を超え8時間まで

令和4年度特別会計予算 (単位：千円)

国民健康保険特別会計	2,028,807
国民健康保険診療施設特別会計	408,352
へき地診療施設特別会計	50,580
介護保険特別会計	1,363,477
簡易水道特別会計	160,280
諸浦港埠頭特別会計	4,522
農業集落排水特別会計	57,872
漁業集落環境整備特別会計	39,436
特定地域生活排水処理特別会計	4,525
後期高齢者医療特別会計	141,508
太陽光発電特別会計	97,681
観光施設特別会計	134,341

令和4年度水道事業会計予算

(単位：千円)

○水道水を作るための収支 (収益的収支)



収益的収入	346,812
収益的支出	350,139

○施設を作るための収支 (資本的収支)

資本的収入	50,300
資本的支出	148,249

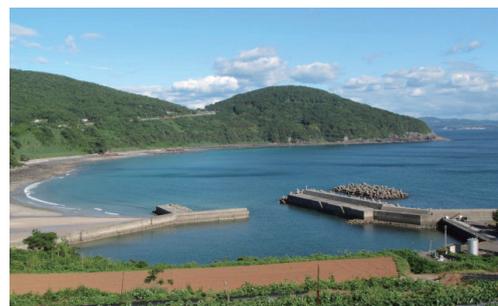


公営企業である水道事業会計は、独立採算の原則に基づき、町民からの水道料金を主な財源とし運営する。また、水道水を作るための収支 (収益的収支) と施設を作るための収支 (資本的収支) の2つに分けて経理している。

令和4年度一般会計予算

主な事業費 (単位：千円)

町長選、町議会議員選挙に係る経費	25,530
包括委託費	181,056
第19回ながしま造形美術展業務委託料	14,500
新型コロナなど予防接種に係る経費	82,293
子宝お祝い金	18,700
海岸漂着物の回収などに係る経費 (本島・獅子島)	11,543
おさかな祭り委託料	3,000
汐見漁港整備に係る工事費	350,000
農業用施設等災害復旧費 (R3発生分)	261,526
林道災害復旧事業費 (R2発生分)	122,362
サツマイモ基腐病対策補助金	14,634
危険空家等解体撤去事業補助金	19,082
灯台線整備に係る工事費	78,000
長島港本浦地区整備 (浮棧橋) に係る工事費	150,000
浄化槽設置等補助金	53,740
学校給食費補助金	43,503
総合運動公園整備に係る工事費	120,000



汐見漁港

は8千円。災害出動の場合は1回当たり5200円。(4時間未満)

保育手続きはデジタルも可

国のデジタル化推進に伴い、保育所などの事業者が作成するものや、保護者間との手続きに関するものについて、紙媒体のほか電磁的方法による対応も可能とするため「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例」の一部を改正。

出産育児金42万円を維持

出産育児金の加算額の基準となる産科医療補償制度において制度の掛け金が引き下げられた。少子化対策として出産育児金の支給額は42万円を維持するため、健康保険法施行令の改正に伴い国民健康保険条例を一部改正。

無償譲渡に伴い条例を廃止

町管理型浄化槽を使用者へ、4月1日に全て無償譲渡することに伴い、浄化槽事業に関する条例を廃止。

関係する特定地域生活排水処理特別会計は、1年間で清算期間として運営する。

一般質問

町政を問う

1 上筋 睦雄 (5ページ)

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策の策定状況は
- ・ 「SDGsの取組み」当面の施策は
- ・ 消防団員の募集と現況の課題は

2 兒玉 誠 (6ページ)

- ・ 町内地域交通の改編は
- ・ 鷹巣診療所 上履き廃止の時期は

3 竹山 司郎 (7ページ)

- ・ 県道葛輪瀬戸線の復旧は
- ・ 防災無線放送 10時と15時にチャイムを

4 浦 弘成 (8ページ)

- ・ ごみ焼却処理施設完成後の運営と課題は
- ・ 長島大陸の農・漁業パワーを生かせ
- ・ 林業振興の現状は

一般質問とは…

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をただすこと。

単に疑問をはらし、事実関係

を明らかにするだけではなく、現行政策の見直しや新規政策を提言するなど、議員の重要な活動である。

令和4年第1回定例会(3月)では次の4人の議員が質問した。

環境条例の制定は

答 今すぐは考えていない

上筋 睦雄 議員



新型コロナ 第7波への備えは

上筋 第6波までの知見を基に、今後の町の感染症対策として、検査キットや治療薬の準備は。また、罹患者の療養・生活支援は。

町長 県のPCR検査を実施し、木下グループからは検査キットの提供を受けた。治療薬は厚生労働省が管理。必要に応じ配布される。

罹患者の療養や生活支援は、県や保健所と連絡をしながら施設や食料を確保する。

上筋 緊急時の資金として予備費3千万円で十分か。

町長 緊急事態で財政の必要があれば速やかに対応する。

SDGsの目標は

上筋 誰一人取り残さない社会（SDGs）の実現に向けた取り組みを問う。環境条例の制定は。

町長 条例制定は今すぐは考えていない。状況を見ながら検討する。

上筋 男女共同参画の推進は。

町長 DV防止なども

含め男女共同参画社会の実現を目指す。

上筋 再生可能エネルギー開発は。

町長 再生可能エネルギーは、天候に左右される不安定な電力。町内には、高圧電気が必要な事業所が少ない。

上筋 農林水産業の6次産業化は。

町長 鹿児島県6次産業化サポートセンターの技術指導や支援を仰ぎながら進める。

上筋 交通弱者対策とスクールバスの運行利用は。

町長 交通弱者は巡回バス、乗合タクシーで対応。スクールバスは学校統合再編した児童生徒用である。SDGsとは無関係。

上筋 学校統合は。

教育長 一番適した教育環境のもとで教育が受けられるよう努力する。

上筋 要介護者の在宅介護、ヤングケアラーの有無は。

町長 在宅介護はさまざまな福祉サービスや介護保険制度を活用。ヤングケアラーは把握していない。

上筋 約1800の住民税非課税世帯、家計急変世帯に対する継続的な施策は。

町長 町は5%を切るくらいの生活保護率。その都度、適切に体制を整えていく。

上筋 長島町のSDGsの目標を、住む人も訪れる人もわくわくす

る、みんなが愉快に過ごせる町「長島大陸わくわくゆかいランド」を提言する。

町長 初めて意見が一致したように思う。

消防団応募促進策は

上筋 消防団入団応募者が少ないと聞く。各種の資格取得の支援や実火災体験型訓練をしてはどうか。

また、出初式で団員の士気を高め、日頃の訓練の成果をみてもらい、観客も共にわくわくする一大行事にしては。

町長 資格取得に補助はない。実火災体験型訓練は、県消防学校が実施予定。

行動規範には団員のモラルがある。団と一緒に研究開発していく。

児玉 誠議員



町内地域交通の改編を

答 必要性は感じている

巡回バス・タクシー事業の運行状況は

児玉 住民から「目的地までバスを乗り継ぐことが不便」「巡回バスで目的地までいけない」などの声がある。巡回バス、タクシー事業の運行状況は。

町長 町内3路線を3台のバスで運行している。

平成22年度では、年間の乗車数が3万4千人、運行収入が340



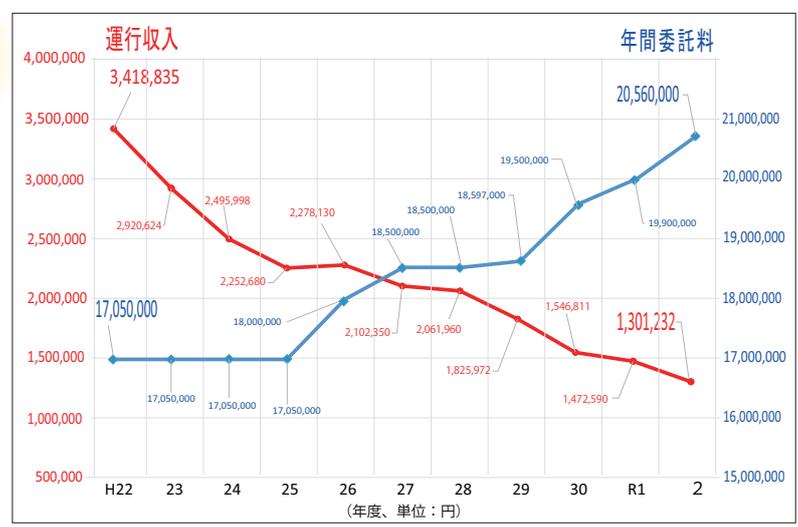
巡回バスの停留所。一部では時刻表などが破損

万円だったが、令和2年度では、ともに3分の1に減少している。交通空白地帯では、乗合タクシーを運行し、対策を図っている。

調査事業・実証実験を行なう考えは

児玉 現在の巡回バス・タクシー事業に合わせ、デマンド、オンデマンドの新たな事業を組み合わせるための調査事業とその実証実験を行なう考えは。

町長 利便性向上を図るため、利用者ニーズの調整や新たな交通システムなどの実証実験の必要性は感じている。



巡回バスの運行収入と年間委託料の推移。運行収入の減少に伴い、年間委託料が増加している

直ちに取り組み必要があるのでは

児玉 これから調査をして、計画を立てるには多くの時間を要する。急がないと利用実態が変わってしまうのではないか。

町長 計画作成や調査の補助金があるので、

鷹巣診療所の上履き廃止はいつ

早速、陸運支局に出向き、高齢化が進む地域では、どのような交通体系が良いのか、専門的知見も伺っていきたい。

児玉 令和3年3月議会で鷹巣診療所の上履きについて質問し、同

年3月15日に廃止するとの答弁であったが、未だに実施されていない。実施日はいつか。

町長 足腰が不自由などの理由で履き替えが困難な方を除き、廃止実施には至っていない。

理由は、院内の衛生面が心配であることや床面の劣化が早く進むこと。また、雨天時には滑りやすく転倒の危険性が高いこと。

受付から入り口は見えないのでは

児玉 車いすで連れていくが入り口でもたつくとのこと。受付からは見えないはずだが。

町長 不便さを聞くことはあるが、全体の中では、大体、今のスリッパ履き替えも安定していると感じている。

10時と15時にチャイム放送を

答

「放送しないように」との
声があるのも事実

竹山
司郎議員



県道葛輪瀬戸線の復旧の見通しは

竹山 県道葛輪瀬戸線
(本浦地内) は、今やつ
と片側交互通行できる
ようになった。全面復
旧の見通しはいつごろ
になるのか。

町長 3月15日から国
の災害査定を受け、そ
の後速やかに工事発注
に向けた手続きをす
る。
一日も早い復旧に向
けて、県と連携し情報
共有を図りつつ、早急
に交通開放ができるよ
うに協力する。



片側交互通行となった県道葛輪瀬戸線

防災無線 10時と15時にチャイムを

竹山 防災無線で、10
時と15時にチャイム放
送をできないか。

農家にとっては、繁
忙期にたくさんの手伝
いをいただく。作業中、
休憩時間が気になるの
で、5〜10秒程度、チャ
イムを鳴らせば時間が
わかるので、どうか
できないか。

カーのみのチャイム放
送は、個別受信機と切
り離して設定すること
は可能。

しかしながら、現在
の朝、昼、夕方の放送
についても、一部の町
民から「放送しないよ
うに」との声があるこ
とも事実。今後、町民
の意見を聞きながら、
必要に応じて検討して
いく。



繁忙期には多くの手伝いが必要となる

浦弘成議員



ごみ焼却施設の課題は

答 ごみの減量化が必須

ごみ焼却施設の運営と課題は

浦 北薩広域行政事務組合のごみ焼却施設「環境センター エネクリン北薩」における、ごみの搬入量、減量化、分別の徹底は、町長 同施設は、令和3年4月に稼働し、最新の焼却技術を用いて、二酸化炭素を削減し環境への負荷を低減する施設である。旧焼却施設より処理能力が

低いため、ごみの減量化が課題である。「(同組合で定める)ごみ減量基本計画目標値」には達していない。ごみ分別の周知と徹底を図っていく。

浦 旧環境センターの活用方法は。

町長 (国の廃止基準を満たした後は) 解体しストックヤードとして、活用する計画である。

浦 プラスチック資源

循環促進法の施行に合わせ、回収業務の一部が地方交付税で賄えるところがあるが、考え方は。

町長 準備期間や経費が必要であるので、国の動向を見ていく。

農業・漁業のパワーを生かすための調査結果は

浦 長島大陸の農業・漁業。パワーを生かすための実現可能性調査について、実証試験の結果と今後の課題は。

分散型バイオマス温冷熱電供給とメタン発酵消化液の有効利用調査事業は。

町長 メタン発酵消化液の利用による液肥利用で、施肥コストの軽減が図られるとの調査結果を得た。しかしプラント建設に掛かる建設資金調達に困難で断念した。

浦 エネルギー構造高度化・転換理解促進事業に2億円の補助金が投資され研究が進められてきた。補助事業の調査が終了するとのことだが、今後、継続調査と費用対効果に対する調査が必要である。国の会計実地検査までの対応は大丈夫か。

町長 二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、太陽光発電の実証試験の結果として設置した

保冷庫の消費電力を賄える。しかし、蓄電池設置に費用が掛かりコスト低減は困難。会計検査の対応は保冷庫の活用方法を考える。

林業の振興は

浦 ミニ開発・伐採の現状は。

町長 1畝以下の開発は町へ届出が必要。

浦 再造林に20年で育つセンダンの植林を推奨できないか。

町長 実施は考えていないが今後研究する。

浦 森林環境譲与税が3年間で約2300万円交付された。活用は。

町長 森林台帳整備や森林パンフレット作製、森林意向調査などを行なっている。



北薩広域行政事務組合のごみ焼却施設「環境センターエネクリン北薩」(出水市野田町)

事業終了などで 特別委員会が調査を終了

観光施設調査特別委員会と革新種苗調査特別委員会は、4月の議会議員の任期満了を控え、調査報告や委員会の存続などを協議するため、2月17日、委員会を開いた。

両委員会ともに、執行部に説明を求め審議した結果を、3月2日の定例会初日、両委員長が次のとおり報告した。

赤字経営の改善が急務

観光施設調査特別委員長 福永 伸親

太陽の里の宿泊施設と2つの温泉センター東泉望および椿の湯の経営は、平成28年度一般会計から1300万円を繰り入れていたが、令和3年度にはその額が6400万円を超過、町財政を圧迫している状況である。

さらに、平成30年度以降、赤字補填のための繰り上げ充用を繰り返したことで、令和3年度の累積赤字は3千万円を超える見込み。

断した。

町は、人員削減や雇

用形態の見直し、職員の出向などを検討し、業務改善委託結果に基づく経営改善に取り組み、併せて町民に対し施設の収支状況などについて丁寧な説明をすべきである。

また、観光施設として関連があった大型宿泊施設の建設については、議会に対して再三、建設計画に向けた報告や説明がされてきた。しかし、本年1月、事業撤退を告げ3月末



赤字経営が続く太陽の里（鷹巣）

までには基礎部分の撤去が終わるとの説明があった。

当委員会は、町は宿泊施設に対するビジョンやコンセプトを掲げ、基本方針や方向性を明確にし、白紙となった大型宿泊施設の建設計画の経緯について、町民に対し説明責任を果たすべきであるとの委員の意見を集約した。



ホテル建設計画が白紙となった予定地(指江)

研究終了は残念。町民へ周知を

革新種苗調査特別委員長 小田 勝志

特別委員会の設置から約5年間、町、長岡

技術科学大学および鹿児島工業高等専門学校が連携した革新的種イモ生産技術研究や生産法人の設立に関し、この技術を生かした生産体制確立や貯蔵施設などの問題点と、町内でのバレイシヨの種イモ生産の可能性を調査してきた。

町は、町内で種イモを生産することは採算性とほ場を確保できないことを理由に、関係機関と協議した結果、会社設立は難しいと見込んだ。本事業の目的である北海道で種イモが生産できなくなった場合でも、本町においてその生産技術は十分に確立されたとの判断のもと、昨年7月、町は事業終了を当委員会に報告した。

その後、同年8月には長岡技科大の関係者に意見を聞いた。大学は、町の産業振興に貢献し、これまでどおり連携を維持したいとのことだった。町と大学との間に食い違いが生じ、連携不足による大きな隔たりがあったことがうかがえた。

これらを踏まえ、次のとおり、委員の意見を集約した。

5年間で4700万円を費やした研究が終了することは非常に残念。しかし、厳しい町財政においてこれ以上予算を費やすべきではない。なお、町は事業結果を町民へ周知すべきである。

当委員会は、事業終了に伴い調査を終了する。

町は、町内で種イモを生産することは採算性とほ場を確保できないことを理由に、関係機関と協議した結果、会社設立は難しいと見込んだ。本事業の目的である北海道で種イモが生産できなくなった場合でも、本町においてその生産技術は十分に確立されたとの判断のもと、昨年7月、町は事業終了を当委員会に報告した。

その後、同年8月には長岡技科大の関係者に意見を聞いた。大学は、町の産業振興に貢献し、これまでどおり連携を維持したいとのことだった。町と大学との間に食い違いが生じ、連携不足による大きな隔たりがあったことがうかがえた。

これらを踏まえ、次のとおり、委員の意見を集約した。

5年間で4700万円を費やした研究が終了することは非常に残念。しかし、厳しい町財政においてこれ以上予算を費やすべきではない。なお、町は事業結果を町民へ周知すべきである。

当委員会は、事業終了に伴い調査を終了する。

委員会でご詳細にチェック

総務民生常任委員会 委員長 前田 穂

町有財産の無償譲渡

▼総務課

Q. 町有財産の主管課は企画財政課だが、なぜ総務課から上程か。

A. 公有財産の所管換えをしていない。普通財産への用途変更後、手続きを進める。

一般会計予算

▼総合管理課

Q. 指江支所での事業対応は専従職員か。支所方式になり対応が遅いなど苦情はないか。

A. 事業係として2名が対応している。係で完結できる要件を対応し、できない場合は本所担当課と連絡を取り合い対応している。今のところ苦情はない。

▼長生園

Q. 16名の会計年度任用職員で予算計上しているが、人員確保はできているか。

A. 今年度、職員2名が退職する。現在2名の会計年度任用職員を確保し、まだ2名が不足している。ハローワークなどに募集している。

▼総務課

Q. 町勢要覧は現在のものを修正するのか、刷新するのか。

A. 全て刷新する予定。
Q. 公民館長へ支払う委託料の内容は。

A. 公民館長へ（各種文書の配布や町通達事

項の周知伝達など）行政連絡に関する事務を委託している。委託料の算出は、各集落の均等割10万円と世帯割を合算した額である。

▼企画財政課

Q. 風力発電の施設管理費は、売電収入から必要経費を差し引くと269万円の赤字となる。今後の運営方針は。

A. 風力発電の売電買取価格は、令和3年8月から1キロワット時24・2円から7円となった。風車の撤去も含め方針を考えていく。

▼地方創生課

Q. ふるさと納税の広告費の活用方法とクレジット決済の成功報酬とは。



風力発電施設（指江）

ループが64万円分の商品券と交換している。

▼町民保健課

Q. 養育医療事業の対象と期間は。

A. 低出生体重児で生まれた新生児が2500gになるまでの入院期間。

国民健康保険診療施設特別会計予算

▼診療所

Q. 派遣医師を含め、常勤医師2名体制とのことだが、今後も派遣は見込めるのか。

A. 4年度の派遣は決定している。5年度以降は未定で、今後も県に継続的に要望を続けていきたい。

定例会で提出された議案21件を二つの常任委員会でご審査しました。各委員会の主な審議内容を紹介します。

◎付帯意見

【総務民生常任委員会】

○総務課の包括委託は、経費の削減、業務の効率化が目的であるが、支出が25%増え、管理も煩雑になっていく。関係機関と連携を図り仕様書に沿った運用をすべき。令和4年度は債務負担行為の最終年度となるため、5年度からの事業見直しなど、目的に沿う方法を検討すべき。

○診療所の会計年度任用職員の勤務体系は、令和3年度からパートタイムとなっている。将来的な雇用確保のため、有資格者である看護師の処遇改善を図るべき。

一般会計予算

▼農業委員会

Q. 農地利用最適化推進委員の活動内容は。

A. 農業委員会総会における議決権をもたないこと以外は、農業委員と違いはない。

▼学校教育課

Q. 科学の祭典委託料は実行委員会を4月に実施するのか。

A. わくわく科学教室は7月下旬の計画で、鹿児島高専、長岡技術大と4月に実行委員会と協議する。

▼社会教育課

Q. 総合運動公園整備事業の完成予定と今後の費用見込額は。

A. 令和7年度完成を予定。管理棟に1億5千万円、競技場に6億



令和7年度完成予定の総合運動公園(鷹巣)を調査する委員

▼建設課

Q. 危険空家等解体撤去事業の4年度の予定と、申請状況は。

A. 4年度は14件を実施予定。3年度は23件の申請に対し16件が対象となった。

交付金事業は、昨年も4月1日に内示があり、4月中に交付申請を行なった。概要要望が昨年11月にあり、県から早期着工で進めるよう指導があった。

円の計画だが、資材や人件費など経費の上昇が懸念され、7.9億円を想定している。

Q. 骨格予算であるが全体的に多くの予算を計上した考えは。

A. 骨格ではあるが、継続して年度当初から事業を開始するものについて計上している。

▼農政課

Q. 鹿児島高専にキクラゲ栽培の研究委託をしているが、今後の活用は。

A. 骨格から発生する二酸化炭素をハウスに送り収量増加や品質向上することが所期の

目的であったが、変更になったのか。

A. 研究内容としては、菌床の技術を実証し産業化につなげたい。

二酸化炭素の発生装置は市販されており、ミカン栽培には大量のガスが必要となる。キクラゲの栽培だけでは補えないため変更した。

▼耕地林務課

Q. 浜瀨温崎地区の地滑り災害の現況は。

A. 伸縮計を2基設置し経過観測している。当初からこれまで3回動いている。

▼水産景観課

Q. 多くの繰入金を計上しているが、具体的な改善策は。

A. 新規メニュー開発や東泉望・椿の湯の軽食部門の再開を検討し、調理師などの整理も考えていく。

水道事業会計予算

▼水道課

Q. 水質検査委託の業者選定と、毎日水質検査業務委託料の算出根拠は。

A. 水質検査委託は毎年3社以上の見積を徴して決定している。毎日水質検査業務委託は、町内28地区の個人に委託し、自宅の水道水の塩素濃度を毎日測定している。

◎令和4年度一般会計予算に関する付帯意見
〔両常任委員会〕
「骨格予算」とは、年間の義務的経費や早期着工が必要な継続費などが計上された予算編成という認識であったが、これまでは異なる財政方針が見受けられた。

さらに、審査においては、工事の平準化や働き方改革といった考え方が全庁的に統一されていなかった。今後は、全職員が共通の認識をもって予算編成にあたるべきである。

審査の結果、住民生活に密接な予算が計上されていると判断し、採決した。

本格的な「肉付け予算」の審議は、選挙後の定例議会に譲るが、改選後の議会議員に対し、再度、当初予算に計上した事業などの丁寧な説明を求める。



議会のうごき

2月

1日	第1回広報特別委員会 (No.66)
3日	第2回広報特別委員会 (No.66)
9日	港整備交付金事業汐見漁港整備工事起工式(汐見)
14日	財政援助団体監査
17日	観光施設調査特別委員会
21日	革新種苗調査特別委員会
21日	例月出納検査
	財政援助団体監査
24日	長島町新生活運動推進協議会(文化ホール)
	議会運営委員会(第1回定例会のため)
	阿久根地区消防組合例月出納検査(阿久根市)
1日	鹿児島県市町村総合事務組合議会第1回定例会 (鹿児島市)
2~14日	第1回定例会
3日	第1回全員協議会
16日	北薩広域行政事務組合議会第1回定例会(出水市)
22日	例月出納検査
23日	阿久根地区消防組合例月出納検査(阿久根市)
28日	令和3年度第2回鹿児島県市町村総合事務組合財務監査 (鹿児島市)
	阿久根地区消防組合議会第1回定例会(阿久根市)
	第1回広報特別委員会 (No.67)
	第2回広報特別委員会 (No.67)
30日	北薩広域行政事務組合議会第1回定例会(出水市)

3月

議員14人が

任期満了



本会議終了後、役場前で記念撮影する議員

3月14日、第1回定例会が閉会した。

議会議員14人は、コロナ禍で制限のかかる議会活動となったものの、4月22日、4年間の任期を満了する。

4月の改選後は、新しい顔ぶれで議会を構成する。

傍聴の際は感染対策を

長島町議会へ傍聴にお越しの際は、マスク着用、手指消毒など感染防止対策にご協力ください。



本会議は、町ホームページやスマートフォン、役場ロビーのテレビでもご覧いただけます。

次の定例会は6月に開会されます。



春。卒業や入学、異動などで新生活を始めたかたも多いのではないだろうか。

人生は、本当にいろいろあります。人生で3割も自分の思い通りにことが進めば、相当にラッキーと思っていけるのでは。

つらいときは思いっきり泣いて、泣き終えたら島美人のお湯割りで心を温める。

それが私の活力です。

どんなに忙しくても、心にゆとりをもって、楽しむことを忘れず、人生を豊かなものにしていきたいと思う、今日この頃です。

任期満了に伴い、議会だよりの編集も今回が最後となりました。

わかりやすさ・丁寧さはもとより、「読んでもらえる」議会広報紙作りに努めてきました。

今後も議会だよりをよろしくお願ひします。
(池田 安彦)

【発行責任者】

議長 林 義明

【編集】

議会広報特別委員会

委員長 児玉 誠

副委員長 二階堂 猛

委員 池田 安彦

委員 古田 一博

委員 福永 伸親

